

岸和田市市制施行 100 周年記念事業 第 4 回実行委員会
会議録（概要）

会 議 名	岸和田市市制施行 100 周年記念事業 第 4 回実行委員会
開 催 日 時	令和 3 年 10 月 6 日（水） 14：00～15：20
場 所	岸和田市役所新館 4 階第 1 委員会室
出 席 委 員	永野会長、中井副会長、桑原副会長、久禮委員、小林委員（代理）、音揃委員、善野委員、井上委員、楠戸委員、泉本（竜）委員、笹部委員、根来委員、今口委員、田中委員、寺田委員、中川委員、室田委員、竹代委員、松阪委員、松田委員、米田委員、平松委員、齊藤委員、桑畑委員、横山委員、山本委員、吉田委員、谷口監事、大嶋監事 計 29 名
欠 席 委 員	七野委員、泉本（真）委員、宮口委員、梶野委員 計 4 名
関 係 者	原部会長
事 務 局	西川総合政策部長、高木担当長、勝元主任、前田主任、羽室担当員
会 議 事 項	1. 開 会 2. 報 告 報告第 11 号 事業部会の実施状況について 報告第 12 号 広報用グッズの作製状況について 報告第 13 号 令和 4 年度の実行委員会事業について 3. その他 4. 閉 会
会 議 内 容	
事 務 局	1. 開会 岸和田市市制施行 100 周年記念事業第 4 回実行委員会を開会する。 本日の出席委員は 33 名中 29 名であり、岸和田市市制施行 100 周年記念事業実行委員会規約第 7 条第 3 項に定める、委員の過半数の出席があるため、本会議が成立していることを報告する。 会議の主宰を規約第 7 条第 1 項により、会長が務めることとなっているので、実行委員会会長である永野市長に司会進行をお願いする。
永 野 会 長	敬老の日に、今年度 100 歳を迎える方の表敬訪問を行った。表敬訪問は毎年行っているが、今年度 100 歳を迎える方々は、岸和田市の一つ先輩にあたると思い、偉大さを感じた。今年はコロナの影響で、お祝い品を贈呈し、すぐに引き上げるようにしていたが、お一人だけ、お声がけをいただき、生まれたときから今日の日までのことをいろいろ話していただいた。戦争の話や外国で捕虜になったことの話をお伺いし、この 100 年間で非常に様々な出来事があったと改めて感じた。 私も今、岸和田市長を務めさせていただいているが、岸和田市にはこれまでの 100 年間、様々な出来事があり、今の岸和田市があると感じている。私はこれまでの様々な歴史に敬意を表し、今ある岸和田市を全面的に肯定したうえで、次の時代に向けて変えるべきところは変えていこうと思っている。先日の表敬訪問を通じて、改めてこ

	<p>のまちの今のあり方を肯定していこうという気持ちになった。</p> <p>今後、100周年を迎えるにあたり、様々な記念事業を展開していくが、現在の岸和田市の財政状況は良くはないのが現状である。お金はあまり使えないかもしれないが、皆さんの心の中に希望の灯の火を点けるような心温まる事業を実施していきたいと思っている。そのためにも皆様にも引き続きのご協力をお願いしたい。</p>
	<p>2. 報告</p>
永野会長	<p>報告は3件。</p> <p>報告第11号から報告第13号については、関連するため一括して報告を行う。</p> <p>本日は、事業部会の部会長であり、岸和田商工会議所の専務理事である原様にお越しいただいているので、部会長よりご説明いただく。</p>
原部会長	<p>事業部会においては、実行委員会から付託・委任された事項について、引き続き議論を重ねているところである。</p> <p>前回の第3回実行委員会以降、事業部会は2回開催した。</p> <p>主な議題としては、広報用グッズについての作製状況や今後の作製にあたっての新たな意見出しを行った。また、令和4年度に実施する実行委員会事業についても議論を重ね、事業部会において、2事業企画したので今回報告する。</p> <p>それぞれの詳細については、事務局から説明する。</p>
事務局	<p>≪報告第11号「事業部会の実施状況について」≫</p> <p>≪報告第12号「広報用グッズの作製状況について」≫</p> <p>≪報告第13号「令和4年度の実行委員会事業について」≫</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>説明後、質疑応答</p>
笹部委員	<p>「(仮称)岸和田城 EXPO ～未来への想い TAKEAKARI～【事業部会案】」の「謎解きゲーム」について、受付場所が「岸和田駅前観光案内所」となっているが、旅行会社とタイアップし、市外からも参加を促すのであれば、一か所だけで良いのか疑問である。例えば、JR東岸和田駅などを含めた複数箇所では受付することはできないのか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、複数箇所設けるというのも良い方法だと考える。事務局としては、岸和田駅前観光案内所は市の観光の軸であると考えていたため、こちらを案として記載したが、複数箇所というご意見を頂戴したので、そのご意見を踏まえ、幅広くご参加いただけるような手法を引き続き検討する。</p>
永野会長	<p>例えば、大阪城で受付するというのはどうか。大阪城への観光客にも岸和田城に誘導することができるかと考える。一意見として検討されたい。</p>
事務局	<p>様々な手法を検討していく。</p>
竹代委員	<p>前回の実行委員会において、私から「子どもたちに向けた事業」を検討されたい旨を申し上げ、この案を拝見し、子どもも非常に参加しやすい良い事業であると感じている。検討いただき感謝申し上げます。</p> <p>その中で、「(仮称)市制施行100周年記念マルシェ事業【事業部会案】(以下「マルシェ事業」という。)」で気になっているのが、「キッチンカーを10台派遣し、市内の各所を巡回する」ということで、「住宅地近辺」というエリアがあるが、岸和田全域をカバーするにあたってどういったエリアを想定されているか。</p>

事務局	巡回エリアに関しては一例としてお示ししているため、具体的な場所はまだ決まっていない。岸和田市は海から山までの細長い地形であるため、より多くの皆様に 100 周年ということを体感していただくにあたり、できる限り広いエリアを巡回したい。イメージとしては山手地区を回ることができればと考えている。
井上委員	子どもたちにとって夢のある 2 案をいただいたと感じている。その中で「竹アート」の事業について、幻想的な雰囲気であると感じる。今後、スポーツや音楽を巻き込んだ事業も検討されるということであるが、新たに一つ検討していただきたいことがある。例えば、「岸和田のむかし話 ¹ 」があるかと思うが、そういった岸和田の昔からの話とこの竹の明かりをマッチさせるようなことができれば、さらに幻想的なものになり、良いかと思う。一つの提案として検討されたい。
事務局	「岸和田のむかし話」の存在は事務局としても把握はしている。しかし、現段階で、マッチングというところまでは発想が至ってなかった。今回ご意見を頂戴し、過去を結びつけることで未来へつながるといったストーリー性を持たせることができれば、さらに事業の厚みが増すと感じたので、いただいたご意見を踏まえ、本事業を盛り上げていきたい。
永野会長 山本委員	子どもたちに「岸和田のむかし話」を知ってもらう機会にできればと考える。 岸和田といえば、やはり「だんじり」がシンボリック的存在かと思うが、だんじりにまつわる事業が実行委員会事業として提出されていないということは、別で実施されるということか。
事務局	今回お示ししている事業は、実行委員会が行う事業（「実行委員会事業」）であり、これとは別に、各種団体等に参画いただく事業として、協賛事業や冠事業というものを予定している。事務局としては、協賛事業や冠事業において、だんじり関係団体からご提案をいただき、実施していただければと考えている。
根来委員	事業部会の方々には会議を重ねていただき感謝申し上げます。以前も申し上げたが、今回は、岸和田市市制施行 100 周年という大きな節目であるため、このような機会に市の活性化を考えていただきたいと思っている。先ほど、冒頭のあいさつにおいて、永野会長から、市の財政状況が苦しいため、節約して周年事業を展開していきたいというお話があった。個人的には、100 年という大きな節目に岸和田市としても少しでもイメージアップするという意味で、テレビ等各種メディアにおいて岸和田の伝統文化を表に出し、PR することで岸和田市の発展の一助になるかと思うがいかがか。
事務局	岸和田市の活性化という点でいうと、事務局は市の職員ではあるが、委員の皆様と同じ方向を向いていると思っている。コストをかけて PR するというのも一つの手法ではあるが、最近では SNS 等の発展など、昔と様変わりしている点も多々存在する。そういった点も踏まえ、費用対効果を勘案し、岸和田市が 100 歳を迎えるということを最大限 PR していきたい。
根来委員	将来の子どもたちのためにも、100 周年記念事業に関しては、永野会長にも少し思い切った考えを持っていただきたい。
永野会長	根来委員のご意見もよく理解できるため、私も気を引き締めて臨んでいきたい。市の財政状況の現状の話をする、行財政再建プランに基づき、この 4 年間は「集中改革期間」として、財政状況の回復に努めてきた。その結果、この 4 年間は黒字になっており、岸和田市の財政は非常に好転している。しかし、100 周年であるからといって、多額の費用をかけて事業を展開したとしても、本当に市民の皆さんの心に残るよ

¹市制施行 70 周年記念事業の 1 つとして制作・刊行された本

	<p>うな、自分事として動くようなものになるのかは疑問である。もし、岸和田市が財政的に豊かであったとしても、お金に頼って事業を推進した場合、中身としては非常に薄い100周年記念事業になるのではないかと思う。したがって、財政状況が厳しいことを逆手に取り、知恵を絞って、人々の心を震わせるような事業をたくさん展開していきたい。その結果、100周年を振り返ったときに、市民の皆さんとともに岸和田市の100年を感じるができる一年になると思っている。</p> <p>今回の事業部会の2案でそれらのすべてを網羅するというわけではなく、その他の事業を企業や各種団体において実施していただくことで、最終的に100周年記念事業が完成すると思っている。したがって、この2事業については、それぞれ事業として成立するかをご確認いただきたい。</p>
今口委員	<p>「マルシェ事業」について、ある程度テーマを決めないとグランプリは決めにくいのではないかと。例えば、泉州の水ナスを使った料理など複数のテーマを設定し、テーマごとにグランプリを決定したらおもしろいと思う。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、本事業においては岸和田のブランドを発信していきたいと考えているため、水ナスを使ったり、しらすを活用したものなど、テーマを設定した方が子どもたちにもメニューを考えていただきやすいと思うので、この点については、今後引き続き検討させていただきたい。</p>
永野会長	<p>今、ご指摘があったように、ある程度ジャンルを絞るなどし、審査をやすくされたい。また、資料にお示ししているように、事業の最終目標としては、学校給食にて提供したいと考えがある。一年に一回、11月1日の給食で提供されるということが、岸和田の文化として根付いていくようにできればということも伺っている。今後も引き続きアドバイス等あれば事務局までお伝えいただきたい。</p>
笹部委員	<p>「マルシェ事業」について、SDGsの考え方に則って事業を展開されるのは非常に良いことかと思うが、食品ロスの削減について、「キッチンカーを利用し、売れ残りを集約しての再販」という記載がある。食べ物については、消費期限があるかと思うが、再販について、どのように考えているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>SDGsは世界的に進めていくべき取組であると考えている。今回、SDGsの観点から、食品ロスの削減ということを挙げさせていただいているが、再販の部分の具体的手法に関して、詰め切れていないのが現状である。しかし、事務局としても、本事業を展開するうえでは、食品ロスは避けなければいけないと認識をしているため、今後、具体的に様々な手法を検討したい。また、アドバイス等あればいただきたい。</p>
笹部委員	<p>井であれば、時間が経つと再販は難しいかと思うが、例えば、器を改良したり、飲食店と連携し、再販していただくような体制を構築したりするなどしたら成り立つかと思う。今後検討されたい。</p>
楠戸委員	<p>事業部会案2案を提案いただき、その中でも「竹アート」に関しては非常に良い企画であり、実行委員会事業として、中核をなす事業になれば良いかと思う。岸和田城周辺でこのような幻想的なものがどれぐらいの規模でできるかはこれからなるかと思うが、今後の検討事項においても、旅行会社のツアーに組み込むなど、他ジャンルへの展開も検討されるとのことであるので、今後、どのような事業になるか非常にワクワクしている。予算上の問題も出てくるかと思うが、ぜひ良いものにしていただきたい。</p> <p>また、実行委員会事業とは別の話にはなるが、冒頭で永野会長がおっしゃっていた、100歳の方の表敬訪問の件について、私も非常に感銘を受けた。ぜひ岸和田市を築いてきたご高齢の方に感謝をするような企画をお願いしたい。</p>

事務局	<p>実行委員会事業の成功には実行委員会の皆様のご協力が必要不可欠であると考えている。様々な側面で、各種団体においてお力添えいただきたい。</p> <p>岸和田市を築いてきたご高齢の方に感謝をするような企画をとという話があったが、こちらに関しては市主催事業として実施できればと考えている。例えば、100歳を迎える方に話を伺い、記念式典においてその映像を流す、又は登壇していただくなどができればと考えている。</p>
永野会長	<p>「竹アート」のライトはLEDを使用されるかと思うが、事業実施後の活用方法について検討しなければならないと考えている。こちらもSDGsの考え方に基づき、事業を実施されるようにされたい。委員の皆様からもアドバイス等あれば頂戴したい。</p>
事務局	<p>先ほども申し上げたが、事業の成功のためには皆様のご協力が必要不可欠であると考えている。したがって、些細なことでも構わないので、団体としてできることがあればお声がけいただきたい。我々からご相談させていただくこともあるかと思うが、その際はぜひともご協力いただきたい。</p>
中川委員	<p>以前に、岸和田城で「八陣の庭灯プロジェクト」として、ろうそくの火を灯すイベントをされていたかと思うが、近頃はしていないかと思う。資料には、「1日限りのイベントで終わらず、一定の期間において岸和田城に触れる機会を提供する」と記載があるが、次年度以降もお城に触れていただくように、例えば、LEDという話があったので、竹明かりの事業を次年度以降も継続して実施することなどはできないか。</p>
事務局	<p>お城周辺には様々な施設が存在するため、それら周辺施設と連携し、お城に触れていただく機会を提供したいと考えている。これらの施設においては、従来からイベントを実施されているが、今回の100周年のタイミングでお城に足を運んでもらい、併せて、周辺施設のイベントを知ってもらいきっかけづくりになればと考えている。それが次年度以降お城周辺に足を運んでいただくきっかけにしたいと考えている。</p>
永野会長	<p>今秋「G.I. ジョー：漆黒のスネークアイズ」という映画が公開されるが、一部のシーンが岸和田城で撮影され、お堀に灯籠を浮かべたシーンなども撮影された。このように皆が協力し、理解し合えばそのようなことも実施することができると思う。気持ちを一つに事業を展開していきたい。</p>
久禮委員	<p>一般社団法人岸和田市医師会も来年100周年を迎え、100周年史のようなものを作ろうと思っているが、何も資料が残っていない。岸和田市にも市史があるかと思うが、昭和50年以降更新されていないかと思う。100周年という機会に、市史を編纂されてはいかがか。また、岸和田市には古い建物や施設が多く存在する。そのようなものを改めて紹介するような機会を提供していただきたい。そうすることで岸和田の歴史を実感することができるのではないかな。</p>
永野会長	<p>岸和田市の資料については、周年事業において記念誌を発刊しており、そちらでカバーされてきたのではないかと考えている。今回の100周年時にも記念誌を作成しようと思っている。しかし、記念誌と言っても多額の費用をかけて皆様にお配りするのは今の時代にはそぐわないと考えているため、紙媒体は最小限としたいと考えている。基本的には、いつでも手軽に見ることができるような、検索機能を持たせた電子媒体の記念誌を作成したい。</p> <p>また、古い施設や風景に関する思いは私も同感であり、毎年岸和田市では、「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」を行っている。この事業は岸和田市が発端となり、類似の事業を大阪府でも実施されている。このような事業も引き続き推進していきたい。</p> <p>以前、とある絵画の団体の方に市内の建物や風景が描かれた一冊の本を見せていた</p>

	<p>だいたことがあった。このように岸和田の建物や風景を様々な形で残していくよう活動されている団体は多く存在する。このような活動している団体を我々としても引き続きサポートしていきたい。</p> <p>3. その他</p>
永野会長 事務局	<p>続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>実行委員会のプレ事業として、「カウントダウン写真等の募集」を7月1日から9月30日にかけて行ってきたが、掲載予定数に達しなかったため、10月からも継続して募集を行っている。実行委員会に所属の各種団体においても既にご参加いただいている団体があるが、まだ枠に余裕があるため、応募、周知・広報のご協力願いたい。</p> <p>また、「協賛事業」に関しては、11月末までの募集、「冠事業」に関しては、10月から募集を開始しているため、こちらも併せてご協力願いたい。</p>
井上委員 事務局	<p>市主催のプレ事業についての主な進捗状況を伺いたい。</p> <p>「未来へのメッセージ事業」に関しては、来年の成人式にてお手紙を返却する手続きを進めているところである。</p> <p>「岸和田市立新図書館整備推進事業」については、市民参加によるタウンミーティング等の実施を予定している。</p> <p>また、プレ事業として実施する冠事業には「消防出初め式」や「岸和田市民駅伝競走大会」を予定しており、のぼり旗等を活用し、PRする予定である。</p>
井上委員 事務局	<p>「岸和田市立新図書館整備推進事業」について、本事業はどのような終着点を目標に事業を展開していくのか。</p> <p>本事業については、図書館の整備を推進する事業として、新図書館の整備に向けた「キックオフ」という位置づけで事業を進めている。令和4年度には、シンポジウムを開催するなどし、図書館のあり方の基本計画を策定したいと伺っている。</p>
永野会長	<p>簡単に申し上げると、図書館について考えていくスタートを100周年に合わせたというイメージである。今の市立図書館は立派であるが、エレベーターがなく、車いすの方などが利用しにくい状況である。今後もこの状態が続くことは望ましくないため、皆さんが利用しやすい図書館にするために、例えば、岸和田市には「市民センター6館構想」という考え方もあることから、図書館を6つに分けるといことも一つの意見かと思う。また、本を少なくし、Web資料が中心となる図書館でも良いかと思う。このようなデジタル化の過渡期であるため、市民の皆さんとともに様々な意見を出し合い、これから望まれる図書館の姿を考え出す第一歩と、この100周年を合わせているというイメージである。</p>
竹代委員	<p>令和4年は岸和田市青少年指導員協議会も60周年の年となり、オール岸和田で盛り上げていきたいと考えている。第2回実行委員会の段階では、100周年の記念式典の日取りが決まっていないというお話があったかと思うが、岸和田市青少年指導員協議会の式典は令和4年11月26日（土）にすることが決定したのでこの機会にご報告させていただく。その折には、「オール岸和田」ということで、100周年事業の一環として、岸和田市青少年指導員協議会の60周年記念式典を実施するイメージであり、この件に関しては全戸配布している「広報赤シャツ」にも掲載しているので、ご一読願いたい。</p>
事務局	<p>≪事務連絡≫</p>

<p>中井副会長</p>	<p>4. 閉会</p> <p>先ほどから委員の皆様のご発言を聞いていると、納得する点が多々あった。その中で、根来委員のおっしゃる点も非常に理解できる。しかしながら、岸和田市の財源を用いて実施する事業にはやはり財政的な制限がある。</p> <p>本日、岸和田商工会議所において常議員会があり、100周年事業について様々な意見が飛び交った。産業、製造業、サービス業などの様々な業態でどのような行動ができるか、今後の100年をどのように築いていくかということを経済4年11月1日に向かって、それぞれの力を結集し、考えていきたい。岸和田市としての考えや実行委員会としての考えを一つにまとめ実行していくことも大事ではあるが、産業、製造業、サービス業、農業、漁業の分野においても我々の未来をどのようにつくっていくかということについて、産業界として大きく提言していきたいと考えている。今後とも双方が両輪のごとく、前進していきたいと考えているため、来年の11月1日に向かって引き続きご協力願いたい。</p> <p style="text-align: center;">《解散》</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--------------	---